

【事業実績】

1.目的

熊本県内の小中学生に、学校の授業の中で少なくとも1度は阿蘇を訪れてもらい、阿蘇地域の社会教育施設やフィールドを活用して、自然と文化の切り口から環境学習や防災学習に繋げて行く学習の仕組み構築に向けた活動を実施。

2. 博物館等の機能強化委員会等による学習パッケージ開発や学習活動実施のための調査・意見交換

今回の事業推進のため、全体的な観点から議論を行った。講師や委員に加え、現地に詳しいガイドや大学の研究者、教育委員会の方にも加わっていただいた。コロナの状況も鑑み、リモートも併用して2回実施した。またそれぞれの施設を知るための委員会(現地調査;1回)、内容検討のための委員会(1回)、学習実施の為の委員会(2回)実施。



第1回機能強化委員会(令和4年9月15日)



第2回機能強化委員会(令和5年2月22日)



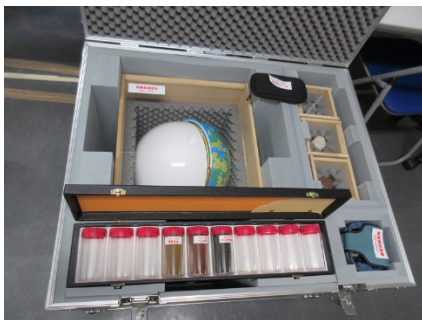
第1回学習パッケージ作成委員会
現地調査(令和4年10月11日)

2. 「阿蘇から地球を学ぶ」学習パッケージ作成

学習指導要領と紐づけるためのコンテンツ検討を複数回行い、その結果学校でも単独で使えるようにするための解説書や学習例成なども作成。また、学校のカリキュラムとの連動も考慮した。

〈作成した学習パッケージ〉

- ・学習パッケージ1「阿蘇火山の恵みと防災～カルデラ大噴火がもたらした人々の暮らし～」
- ・学習パッケージ2「SDGsを学べる阿蘇の草原～草原の活用が護る地球環境～」
- ・学習パッケージ3「九州を潤す阿蘇の水～水が育んだ農耕文化～」



学習パッケージ1 成果物
(主な岩石、地球模型など)



学習パッケージ2 成果物
(カヤネズミの巣、カヤ箒など)



学習パッケージ3 成果物
(カルデラ内の水源分布、自噴模型など)

3. 学習パッケージを活用した授業実施および「阿蘇学習ツアー」試行

- ・熊本大学教育学部附属小学校 6年生(3クラス)2023年2月27日実施
- ・熊本市立砂取小学校 5年生(2クラス 57名;3班に分けて実施)2023年3月9日実施
- ・文徳中学校 1年生(1クラス 13名)2023年3月10日実施

学習活動にあたっては、実施側として委員会を開催(2回)して関係者間でパッケージを使った授業の進め方などについて協議、また学校に対しては事前の打ち合わせ、メールでのやり取りを通して学校側の希望を取り入れ、さらに

事後のアンケートを実施した。学校や子どもたちの意見や感想は、今後の事業展開に反映させる。



阿蘇火山博物館を活用した学習



草原学習館を活用した学習



学習パッケージ2を活用した学習
(熊本大学教育学部附属小学校)



学習パッケージ1を活用した学習
(熊本市立砂取小学校)



学習パッケージ3を活用した学習
(熊本市立砂取小学校)



マグマづくり実験の様子
(文徳中学校)

熊大附属小学校では2つのテーマで、砂取小学校は3つのテーマ、文徳中学校は1テーマで、それぞれ学習活動を行った。今回の事業の大きな目的は、阿蘇の社会教育施設と学校の学習を結びつけることであるので、その意味では大きな成果を上げることができた。一方では、学習を実施するうえでの学校側としての課題もいくつか出された。とくに課題については次年度以降の事業展開に向けて活かしていきたい。

学校（担当の先生）からの意見（事後アンケートの結果より）

- ・(熊本市内から阿蘇への)移動時間を考えると、一泊での学習が理想的かなとも思う。5年生の社会科では、自然災害の単元があるので、中岳の噴火や熊本地震について学ぶことができる。水俣学習の延長線上にジオパークの学習をもってきてもいいかもしれない。(社会科の自然災害も環境に関する単元も2学期後半から3学期の単元ですから、2月末は最適かも)
- ・火山や災害の恐ろしさだけに目を向けるのではなく、自然の恵みに気づかせる内容は大変素晴らしい。
- ・直前まで詳しい内容がわからなかったのもう少し早めに打ち合わせができればよかった。
- ・阿蘇ならではの惣菜がちょっと入った弁当を注文できたら、みんなで食べたかったと思った。食文化体験となり得る。

参加した子どもたちからの意見や感想（事後アンケートの結果より）

- ・勉強と聞いていたからどんな感じかなと思っていたが、すごく楽しめる内容であったのでよかった。博物館では、ボタンを押して火山がどうなったかなどが学べたので、予想より楽しかった。
- ・映像と併用しながらになっていてわかりやすくて良かった。目で見て学べたので理科の授業とは違った。もっと見たかった。
- ・教科書で学習するよりいろいろな分野を学ぶことができるので面白かったです。
- ・実際に、地下水が湧き出ているのを見たり、地下水を触ったりして温度やどれくらい湧き出ているのかを知ることができてよかった。体験したことで、話を聞くだけより理解度が高まったと思います。

携わった委員からの意見や感想

- ・モニター校の決定が直前だったこともあり、調整の時間が短かったと思います。今後継続的に学習を受入れる場合はだいたいのスケジュール申し込みは何ヶ月前まで、人数の決定はいつまで連絡等があると学校との調整ができやすくなり良いと思う。